

秋田での競技と仕事の両立を応援する

アスサポアキタ

採用企業事例集

Vol.1



トップアスリートと
企業のマッチング



アスリートキャリアの問題

現役を続行したいが？

卒業後、競技力を高めるには、
アスリートの自分にはどんな環境が必要？

**受け入れてくれる実業団がなかったり、
クラブチーム競技のアスリートは自ら
その環境を整えなくてはならない。**

就職

後援会

スポンサー

ここでは就職について取り上げます。

**企業が求めるのは『競技と仕事の
両立』ができるアスリート社員です。**

アスリート⇒企業へ

競技環境・勤務日数・活動経費などを希望

企業⇒アスリートへ

競技での活躍は勿論、企業側の条件あり。

※このギャップを埋めるためには、自己理解・
自覚・競技以外で仕事や企業に貢献できる己
の強み・武器などの備えが必要です。
あわせて、競技引退後の人生計画(セカンドキ
ャリア)を考えておくことも必要です。

Q 「アスサポアキタ」とは？

A 企業とトップアスリートをマッチングするシステムです。
アスリートが県内で安心して競技を続けながら働ける
環境を秋田県が応援します。企業への就職を望むアスリートに
理解を示してくださる企業には「雇用奨励金」「競技活動サポ
ート補助金」の制度で、スポーツ界と産業界の間にWin-Winの関
係をつくることを目指した就職支援制度です。

Q 採用するとどんなメリットがありますか？

A ①世界を舞台に戦う姿を通じて他の社員が会社に誇り
を持つ。②アスリートの応援を通じて社内に一体感を
醸成できる(目標達成意欲)③所属企業が本業以外で新たな
ネットワークを構築できる(地域社会・多様性)④アスリート
支援企業としてメディア露出が増加する(広告塔・社会貢献)

Q たくさんお金がかかるのでは？

A 必要なのは、給与+活動経費です。給与の水準は同世
代社員に準じる金額で、活動費は競技により違いはあ
ります。(全額でも一部でも構いません)また、秋田県の「競技
活動サポート補助金」制度を活用することで、活動経費負担を
軽減することができます。



ここが聞きたい Q & A

Q スポンサーとの違いは？

A 「スポンサー」とは、トップアスリートに対し、広告や宣伝を目的に契約金を支出する広告主のことを言いますが、アスポアキタはトップアスリートを「正社員」として採用していただく制度ですので、企業は広告主でなく雇用主となります。

Q アスリートの持つ企業人としての資質は？

A 世界を目指すアスリートには、常に高い目標に挑戦し続け、決してあきらめない姿勢、集中力、チームワーク、体力面や、メンタル面において強みがあり、ビジネス社会で大いに通用する企業人としての資質が備わっております。

Q 会社の規模にかかわらず採用できますか？

A 採用いただけます。実際の採用企業の規模も様々で、従業員が少ない企業ならではの応援の仕方や、活用方法もあります。

Q 競技引退後は、どうなるのですか？

A アスリート競技活動サポート事業の採用条件は正社員雇用となっておりますので、基本的には競技引退後は仕事中心となります。また、仕事と指導者の道を歩む方もいると思われれます。

CONTENTS

トップアスリートの採用
ここが聞きたい Q&A……………1

採用事例のご紹介

株式会社秋田病理組織細胞診研究センター(AKH) ……3

ALSOK秋田株式会社 ……4

有限会社鶴の湯温泉 ……5

田沢湖高原リフト株式会社……………6

秋田ノーザンハピネッツ株式会社 ……7

シード株式会社……………8

エントリーから採用までの流れ ……9

アスリート競技活動サポート事業……………9

事業所登録企業一覧……………10

担当者紹介……………10



AKH (株)秋田病理組織細胞診研究センター

本社所在地/秋田県秋田市雄和榎川字奥橋信12-8
資本金/2,500万円
事業内容/地域に根ざした病理診断・細胞診断・検査事業

採用アスリート

■カヌー・スラローム/カナディアンシングル

佐藤 彩乃 2017.4.1入社

1998年生まれ 秋田県仙北市出身
秋田県立角館高等学校卒
2016.アジア選手権大会出場
2017.スエーデン国体(成年女子)
カナディアンS(15G・第1位/25G・第1位)



阿部社長はじめ、社員の方々も良い方ばかりの恵まれた環境に感謝しております。採用されて以前よりも安心して、競技に打ち込めるようになりました。いつも皆さんから、たくさんの応援をいただいております。私も競技で良い成績をとって会社へ貢献したいと思っております。

Q なぜ、トップアスリートを採用しようと思われたのですか？

A 《代表取締役 阿部 一之助氏》
最初は、トップアスリートを支援するという事は、制度も含めて全く知りませんでした。当社の協力者でカヌー協会の理事長より、頑張っている佐藤彩乃さんの支援をしてくれないかというのがきっかけでした。

その後、昨年たまたま新聞を見ていて、あっ、こんな支援制度があるんだ、と知った次第です。



阿部社長

Q 佐藤選手を採用したことで、会社にどんな変化がありましたか？

A 社員の反応は最初、「エッ、なんなの？」と、なかなかピンときていなかったのが実感でしたね。

ところが、彩乃さんが会社に訪ねて来るようになって、今こういうことをやっているとか、スロベニアに行くんだとか、そういった事を知るようになってから、すごく興味を持ち出したようです。今は、スロベニアから月1回メールで活動報告が来ます。

でもカヌーは決してメジャーではない、我々にとって遠いスポーツなのも事実です。実際にどういう競技なのかと、スタッフと一緒に会場に見に行ったりもしました。

そして、そこで頑張っている彼女を見て、会社でも応援しようじゃないかという気運が高まったのです。

今、彼女は東京オリンピックを目指しています。

これは自分たちにはできない事ですから、だからこそ彩乃さんと一緒に東京オリンピックを目指す、応援して頑張っていきたいと思うようになりました。

Q アスリート社員がいることで、社内の一体感の醸成効果があるといわれていますが、佐藤選手はカヌー海外研修中で国外が多いと思います。社内ではどのように対応されていますか？

A まず、彼女から活動報告が来ますので、それを全体ミーティングの中で、今こういう状況で頑張っている、などと僕の方から報告します。

すると社員からも、頑張ってほしいなあ、じゃあみんなで今度応援に行こうか、などの反応が返ってきます。そんな風に、職場の中でもかなり期待感が出てきました。さらに、国体で優勝したでしょう。あれが大きかったですね。新聞にも出ましたし、自分たちの

同僚、自分たちが応援している人だということで、今はもう気持ちよくみんなで応援しています。彼女の頑張りが会社の一体感を高めたというんでしょうか。

その選手と一緒にその自分の会社の名前が動きますよ。そこに自分たち社員がいる、親戚の人からも貴方の行っている会社じゃないの、とか電話をもらったりするみたいです。

海外から帰ってくると必ず会社に顔をだします。そして、みんなのところを回って、「応援して頂いてありがとうございます」と直接伝えてくれます。そういった意味でも、受け入れ態勢はうまくいっていると思います。

Q 仕事と競技の両立という点から、佐藤選手は競技に専念できる恵まれた環境にありますが、将来的には仕事はどうされるのですか？

A 彩乃さん自身がこの職種にすごく興味をもってきています。ここで働きたい気持ちをもっているんですね。将来的には、臨床検査技師の資格を取得し、ここで働きながら後進を育てたい、という気持ちが強いようです。我々としてもバックアップしながら、この先も会社で働いてもらおうとしっかりと体制を作っていきます。

Q 今後、佐藤選手に期待することは？

A 本当に、我々が経験できない事をしていきますし、インターナショナル、世界を見ます。そういった大きい視野に立った形で応援していきたいと思っておりますし、ぜひ私どもの会社を背負って、頑張っていきたいと思っております。



ALSOK秋田(株)

本社所在地/秋田県秋田市卸町4丁目9-2
 資本金/3,000万円
 事業内容/ALSOKグループ(警備・防犯・防災・ビル管理)

Q 秋田県のアスリート競技活動サポート事業についてはどうお考えですか?

A 《代表取締役社長 辻本 光雄 氏》
 そうですね、菊地君は実力のある選手であり、えひめ国体代表にも選ばれました。また以前にサポート事業についてのお話を聞く機会があり、事業要件に該当するのではないかと感じておりました。われわれ企業としても、メリットがありますし、本人も色々な大会に出場となると費用もかかりますので、ありがたい制度だと感じております。

Q なぜ、トップアスリートを採用しようと思ったのですか?

A 《辻本社長》
 以前、取引先の社長様から「ALSOKさんはレスリングが結構盛んだよね。」と言われたことがあります。



辻本社長

ご存知の様に、伊調馨などのトップアスリートも所属していますので、「菊地君を採用したらいかがですか。」という話がありました。「願ってもない話なので、菊地君さえ良ければ、是非ウチにきてほしい。」という事で、採用の話がとんとん拍子で進みました。菊地君本人も秋田に来て、ALSOKで頑張りたいという事でしたのでサポート事業を利用し、採用という流れになりました。

Q 採用したことで、会社にどんな変化がありましたか?

A 《管理部 人事課長兼 総務課長 袴田 敏浩 氏》
 菊地選手の出場する大会は、全国クラスの大会が多いため、全員で応援に行ける機会があまりありませんが、新聞等に掲載されている菊地選手の成績には注目しています。

先日にも全国社会人オープン選手権で3位と結果を残して、社長から「スポーツ功労表彰」と、ALSOK本社のALSOK社会長から「連盟表彰」をいただきました。菊地選手の活躍はホームページでも公開してますし、社員からの注目度も高いようです。

Q 菊地選手の仕事ぶりはどうですか?

A 《袴田課長》
 現在、本社の営業第2課に所属しております。主な業務内容は、お客様の新規開拓と既存顧客の管理ですが、丁寧な仕事ぶりで、もともと真面目な性格ですし、お客様の評判も良く、頑張っています。



袴田課長

採用アスリート

■レスリング/フリースタイル61kg級

菊地 憲 2017.7.10入社

1986年生まれ 秋田県秋田市出身
 日本体育大学卒
 2003.全国高校選抜選手権54kg級優勝
 2014.米国ビル・ファール国際大会61kg級第2位
 全日本社会人レスリング選手権大会61kg級(2013年から3連覇)



理解をしてくれている会社に心から感謝しています。勝つ事で恩返しをし、地域の方々にもALSOK秋田をアピール出来たらという思いで日々トレーニングをしています。営業中にもお客様から、新聞やインターネットで名前を見たとき声を掛けて頂いた時は本当にモチベーションが上がります。今年は再び日本代表で海外遠征に参加する事が最大の目標です。

Q 仕事と競技の両立という点から、会社では何か配慮したりしてはありますか?

A 《袴田課長》
 練習のため、早めに退社するといった場合などには、積極的に許可を出しています。もちろん、自分の仕事もある訳ですから、大会期間中は、全面的にサポートして、お客様には迷惑が掛からないようにしております。

Q 今後、菊地選手に期待することは?

A 《辻本社長》
 これまでも立派な成績を残していますが、もう32歳になるため、本人はまだまだと言っていますが、ハードなスポーツですから、とにかくやれるまでやって、燃え尽きてほしいと思っています。

今のところは社内、そして県の代表という事をバックボーンに頑張ってもらいたいと思っています。

菊地選手へ聞きました。

Q 採用されて、ビフォー&アフターの違いや、変化は?

A 以前は、オリンピックに出場したいという、自身の目標のために頑張っていたのですが、今は会社への感謝の気持ちが大きく、自分が勝って新聞等で地域の方々にアピールでき、会社に貢献できたらうれしいです。いい意味でのプレッシャーを感じています。

Q 仕事と競技(練習)の両立はうまくいっていますか、課題などは?

A レスリングだけと言われたいにも、先輩方のアドバイスを忠実に守り、契約もいただいています。その面では、両立はできていると思っています。しかしレスリングは対人競技ですので、実践練習が不足していると思っています。それが課題です。

(有)鶴の湯温泉

本社所在地/秋田県仙北市田沢湖田沢字先達沢国有林50
資本金/1,000万円
事業内容/宿泊温泉業(乳頭温泉郷) 日本秘湯を守る会

Q トップアスリートを職員として採用されたのは?

A 《代表取締役会長 佐藤和志氏》
山奥の温泉なので、アスリートの人を採用できることは、正直考えていませんでした。しかし、カヌー会場というのは山奥に会場がありますので、山奥という事であれば温泉と共通点があるともいえます。



佐藤会長

ここは、デスクワークが無いので、心配だったんですが、彼が「こういう状態で大丈夫です。お客さんとコミュニケーションできる事で、いろんなことを吸収できます。そういう部分では楽しくやらせてもらってます。」という事なので、安心しました。

鶴の湯温泉は昔からの湯治場ですので、いろんな所からいろんな方がきています。たぶん今の旅館という枠の中ではなくて、やはり湯治場の温泉というのは、大衆というか一般の皆様へ愛される場所であって欲しいと考えています。また、海外からのお客様もきてますので、そういう時に彼のように、何カ国語かできるという部分ではうちのイメージも良くなります。さらに、一緒に働いている従業員も、全日本とか世界に出て行く彼と一緒に居るとい事で、モチベーションが上がるとい部分かなと思います。それとまたいろんな話が聞けるので、それも楽しみです。

Q アスリート社員を受け入れる上で、課題として何かありましたか?

A 一番懸念したのはデスクワークが無いということでした。私を含めて従業員みんなで手分けをして同じ仕事をするという事が、アスリートとしてのプライドを傷つけるのでは?という心配がありました。しかし、彼は角館で育ってますので、意外に田舎の生活というものに、違和感無く溶け込めるとい部分があったようで、今は安心しています。

Q 採用したことで、会社にどんな変化がありましたか?

A 翼さんがうちに居るとい事で、お客様から「本当?」みたいな反応が多く、うけるみたいです。鶴の湯温泉は海外のガイドブックにも載ってますので、翼さんも海外に行くと、「鶴の湯」と言えば分かってもらえる時もあるようです。

鶴の湯の知名度は、県内の人が思っている以上に、海外では高いので、そのことが彼にとっても鶴の湯にとってもプラスになればいいと思います。

採用アスリート

■カヌー・スラローム/カヤックシングル

佐々木 翼 2017.8.8入社

1983年生まれ 秋田県仙北市出身
秋田経済法科大学卒
2016.カヌー・スラローム日本総合ランキング K-1第1位
2016.カヌー・ワイルドウォーター日本総合ランキング K1第2位
2017.えひめ国体(成年男子)
カヤックS(15G・第2位/25G・第2位)



佐藤会長はじめ、従業員の皆さん方の理解をいただきカヌー競技ができることに大変感謝しております。私自身も「鶴の湯」という圧倒的な知名度に負けられないように、職場にも貢献しながら、また、皆さんの期待に応えられるよう、競技でも頑張ってお活躍したいと思っております。

Q アスリートの仕事と競技の両立に配慮されるご苦労は何ですか?

A まず、こんな山奥の温泉にアスリートが就職するという事が、普通は考えられないと思います。そういう中で来てもらってる事でもありますので、正規にローテーションに入るのではなくて、私としては時々手伝ってもらうぐらいのスタンスでいます。

正規のローテーションに組み込まれると、彼もやりづらと思いますし、うちの方としては逆に若い人に、時々手伝ってもらってるとい、そちらの方が従業員の人達にしても刺激が有るし、手伝ってもらった時は、ある程度案ができるので、お互いにいい状況になっていると思います。

温泉旅館といえども知名度、それから対外的に話題に上らないとお客さんも来てもらえません。それはサービス業で一番大事な部分だと思しますので、その意味でも彼の知名度が上がれば、旅館も大いに助かる部分だと思します。

Q 今後、佐々木選手に期待することは何ですか?

A 彼の露出が高ければ鶴の湯温泉のグレードも上がるという事だと思しますので、それに期待しています。



田沢湖高原リフト(株)

本社所在地/秋田県仙北市田沢湖生保内字下高野73-2
 資本金/3億9,172万円
 事業内容/秋田県指定管理施設の管理運営
 (田沢湖スキー場、県立田沢湖スポーツセンター)

Q なぜ、トップアスリートを採用しようと、思われたのですか？

A 《代表取締役社長 福原 幸成氏》

田沢湖スキー場では4年前からワールドカップのモーグルのレースを開催しております。世界的にも素晴らしいコースだという評価をいただき、施設も立派になりました。受け入れ態勢も競技の運営も非常に円滑に行っています。



福原社長

この恵まれた環境を好機として捉え、新たにモーグル選手を社員として迎え、事業の活性化を図りたいと思いました。

そしてまた、当社は設立以来50年を経過しようとしています。これを契機に、地域貢献もしていきながら、さらにモーグル競技の普及・振興もはかっていきたいと考え、今回藤井さんを採用した次第です。

Q 入社後はどのような仕事に？

A 夏場のトレーニングの企画などに、営業企画を担当してもらいたいと考えています。彼の持っている人脈を活かして、今まで田沢湖スキー場に来ていただけなかったお客様に、特にモーグルの選手の皆様には、お客様として来ていただけるようにしたいと考えています。

Q 藤井選手(新卒・社会人アスリートとしてスタート)に期待することは？

A 彼の持っている能力を発揮してもらおうと同時に、合宿などの利用者の受け入れにも力を貸してもらいたい。例えば彼が推進して、ジュニアの教室を開催するとか、将来的にはそんな事も会社としてバックアップしたいと思っています。

Q トップアスリートを受け入れる上での課題として感じていることは？

A 一番は、社員の理解と協力がなければいけないので、そういう意味でも、彼には社員からまた地域から愛される選手、社員になってほしいと期待しております。

採用アスリート

■スキーフリースタイル/モーグル、デュアルモーグル

藤井 昌織 2018.4.1入社

1995年生まれ 長野県北安曇郡白馬村出身
 松本大学卒
 2013.世界ジュニア選手権(イタリア)出場
 2016.カナダ選手権出場
 2017.フリースタイルふくしま大会第3位



この度の採用で、フリースタイル・モーグルスキーの競技選手として、サポートしていただけることに大変感謝しております。国際大会・国内大会で活躍することを通して、会社並びに秋田県へ貢献できるよう努力していきます。

今後、秋田県のモーグルスキー選手が増えていき、秋田のモーグル競技の発展へとつながるよう頑張っていきたいと思っています。

Q 冬場以外の仕事は、どんなことをされるんですか？

A 現在、玉川温泉の駐車場の指定管理や、駒ヶ岳のマイカー規制、スポーツセンターの指定管理、スキー場も含めて県の施設の指定管理業務を受託していますので、その業務については勉強し、いずれ、将来的には中核社員として、活躍してもらうためにも業務全般を経験してもらいたいと考えています。



Q 仕事と競技の両立をどのようにサポートされるのですか？

A まず住むところからサポートしていきます。冬場に関しては、スキー場の近くに寮もありますので、それも利用してもらい、夏場については遠征もあるので、どういった形が彼にとって一番いいのかをよく相談してから決めたいと思っています。海外や国内遠征もありますので、競技活動サポート補助金も活用しながら支援して行きたいと思っています。

Q 秋田のモーグル競技発展と選手の育成に貢献したいとの藤井選手の力強いメッセージが有りますが、どのように支えていきますか？

A 当社は業務としてスポーツ施設などの指定管理者となっております。夏場にはこの施設を活用してトレーニングできるよう、サポートしたいと考えております。

秋田ノーザンハピネッツ(株)

本社所在地/秋田県秋田市旭北栄町1-5

資本金/8,000万円

事業内容/プロバスケットチームの運営

スポーツイベントの企画・運営・主催など

Q 秋田県のアスリート競技活動サポート事業をどう思いますか？

A 《代表取締役社長 水野 勇気 氏》

「スポーツ立県あきた」を掲げている秋田県のスポーツ振興や、スポーツの発展に寄与する非常にいい事業だと思えますし、アスリートにとっても、また企業にとっても採用に踏み出し易い、いい制度ではないかなと思います。



水野社長

Q なぜ、プロバスケットチーム運営会社がラート競技選手の採用を決めたのですか？

A 実は、採用を決めた高橋選手は、2014年にbjリーグ当時のオールスターゲームを秋田で開催した時に、ハーフタイムにラートのパフォーマンスで出演していただいたのが縁でした。

秋田県角館出身のアスリートで、世界チャンピオンという素晴らしい成績を持っています。又、彼も地元秋田に戻ってきて、秋田を拠点に競技活動を続けていきたい、ラートを普及させたいということをお話から聞いていたので、我々としても何かサポートできないかとずっと考えておりました。

その中で今回のトップアスリートの支援事業を活用させていただけるということで、我々も高橋選手へのサポートへの一歩を踏み出し易かったという事があります。

我々の会社としても、スポーツの発展でありますとか、アスリートの育成、そういったものを目指しています。

彼のキャリアを活かした体操教室の開催や、コーディネートトレーニングなどで体幹などを鍛えるようなことを通して秋田の子供たちが習えるようなそんな環境を作っていきたいと考えています。バスケットボールやそれ以外のスポーツでも、将来世界で活躍するようなアスリートを輩出できるように高橋選手と一緒に展開できればいい、今回採用を決めさせていただきました。



■ラート
高橋 靖彦 2018.4.1入社

1985年生まれ 秋田県仙北市出身
筑波大学人間総合科学研究科体育学専攻修了
2015.第11回世界ラート競技選手権大会男子個人総合優勝
2016.第12回世界ラート競技選手権大会男子個人総合第3位
2012.~2017.全日本ラート競技選手権大会
男子個人総合6年連続優勝



この度は貴重なお話をいただきましたことに、心から感謝申し上げます。地元秋田の名を、全国、世界に発信できるよう、これまで以上に努力する決意を胸にしています。まずは、2018年5月の世界選手権での優勝に向けての調整を進めていきます。そして、2019年4月に日本で初開催となる世界チームカップ(秋田市)の成功と優勝を目指します。応援の程よろしくお願ひ申し上げます。

Q 今後、高橋選手が入社したら、どのように活用していきたいとお考えですか？

A 新しい事業として、運動系の教室を展開していきたいと考えています。そこには、彼のキャリアである経験、知識そういったものがピッタリ合うと思っています。また、彼自身ラートというものに非常に想いがありますので、ラートの普及活動で、我々がバックアップできればなと思っています。

Q トップアスリートを採用するにあたり、どんな点が大事だと思いますか？

A われわれはプロバスケットボールチームを運営しますので、トレーニング環境というのは、充実していると思います。競技を続けていくにはそういった、トレーニング環境といったものをバックアップできる事がアスリートにとっては、非常に大事になるのではないかと思います。

Q 会社として、トップアスリートの仕事と競技活動の両立をどのように対応していきますか？

A 大会がある時は当然そちらを優先してもらいます。日々のトレーニングに関しては、1日8時間まるまる練習すると言うわけではないので、トレーニングする時間と仕事をする時間というものをしっかりと計画を立てていながら、充分に両立ができるのではないかと考えています。その辺はバランスよくやってくればと思っています。

Q 高橋選手に期待したいことは？

A 世界チャンピオンというのは、そんな簡単になれるものではないと思います。そういった世界チャンピオンの経験を是非、秋田の未来のアスリート、子供たちに伝えてもらって、秋田から、また、新たな世界に通用するアスリートを輩出していければと思っています。

シード(株)

本社所在地/秋田県北秋田市鷹巣字北家後 36-15
 資本金/2,000万円
 事業内容/スポーツ衣料の制作・製造・販売

採用アスリート

■スキー/ノルディック複合

湊 祐介 2018.4.1入社

1985年生まれ 秋田県北秋田市出身
 日本大学から東京美術学園で活躍
 2009.世界選手権リベレツ(チェコ)団体優勝、個人6位
 2013.世界選手権イタリア 団体ノーマルヒル4位
 2014.ソチオリンピック 団体ノーマルヒル5位
 2018.第73回 国民体育大会 成年男子82位



4月より秋田でスキー活動をさせていただく事になり、期待と興奮で言葉になりません。
 なにより、私を採用していただいた企業様に感謝の気持ちでいっぱいです。これからは秋田県民として良いご報告ができるようスキー競技に集中して努力して行きます。
 皆様に応援していただける選手を目指します。

Q 何故、トップアスリートを採用しようと思われたのですか？

A 《専務取締役 中嶋 俊輔氏》

当社の業務は、元々、スポーツウェアの下受けでしたが、ここ数年、販売会社としても発展していきたいと考えていました。その広告媒体のことを考えれば、どうしてもトップアスリートに惹かれてもらう必要があります。そこで、もともと同級生だった湊さんに、ずっと話していたのですが、こんど会社を退社するという話を伺いました。であれば、以前から当社の製品を愛用してくれていたことありますので、今後は製品開発や、広告的なことも含めて、サポートして欲しいと考え、話を進めたところ、採用させていただくことになりました。



中嶋 俊輔

Q トップアスリートを
受け入れる上での課題は？

A まず、現在実際に働いている社員や社内の体制にどう理解してもらえるかがキーポイントのひとつだと思います。これが新たな試みで、どういったメリットがあるのか、この活動がどういう方向に位置づけられていくかということも、きちんと提示することが必要だと思います。

その他、会社の業態と、スポーツをどのような枠組みで結びつけるかを考える必要があると思います。当社の場合は、事業内容からしても、受け入れ易いのではないかと思います。

Q 御社はスポーツ衣料の制作・製造・販売会社としてどのようにアスリートを活用されますか？

A 当社の場合、物は作れます。売る事も最近、頑張っています。しかし付加価値的に、説得力に欠ける部分があると感じています。したがって、彼に期待する事は、この部分はいいものなんだよと宣伝すること、そしてそれは付加価値的ではなく、ちゃんとトップアスリートが認めたものを提供していることを一般の方にも知ってもらって、架け橋になって欲しいと、期待しています。

Q アスリートの仕事と競技の両立を
どのようにサポートされるのですか？

A 当社の考えでは、しばらくは競技生活に専念して頂いて、そのなかで広告業務に従事してもらいたいと思っています。やはりスポーツウェアは、アスリートが着てこそ価値が

あります。まずは競技が優先で、それを妨げないように広告してもらおうのが、一番だと思っていますので、とりあえずそれにチャレンジしたいです。

Q 湊選手に、今後、期待することは？

A 第一は活躍して、圧倒的な存在感をメディアに示し、それを支えているのが当社の商品であるというのが一番であると思います。まずは自分を大事にして光輝いていただくことを望みます。

そして、それが社員にも伝わり、さらにジャンプアップするきっかけになればいいと考えています。

Q ジュニアの育成、
地元への貢献ということに関して

A 彼がアスリートとして活躍すれば、それは地元への貢献に繋がりますので、会社としてお手伝いできるかなと思います。ジュニア育成に関しては、まだアスリートという立場が強いので、その姿をそのまま見せられるのが一番だと思います。あこがれの存在でいてもらえるのが育成には大事だと思います。



アスリート専門の職業紹介所です。

秋田トップアスリート無料職業紹介所

エントリーから採用までの流れ



アスリートの競技活動サポート事業

事業内容

アスリートが県内で競技活動を続けながら働ける環境を提供

秋田県正規雇用奨励金

200万円(1回のみ)

トップアスリートを正規雇用した
企業に対し支給

秋田県競技活動サポート補助金

上限年240万円を最長5年間

トップアスリートを正規雇用した
企業に対し交付

※事業該当要件については、ホームページまたは事業説明ちらしを参照、またはアスリート就職推進担当までお問い合わせください。

事業所登録企業一覧

菱明三菱 電機機器販売(株)	ノリット・ジャボン(株)	奥羽住宅産業(株)	(株)友愛ビルサービス	(株)ライフサポート エガワ東北
(株)プレステージ インターナショナル	秋田ゼロックス(株)	医療法人久盛会	社会福祉法人 こまくさ苑	(株)佐藤海事
(有)ビー・スケップ	(有)斎藤昭一商店	(株)男鹿興業社	秋田電話工業(株)	(株)男鹿ゴルフ
(株)光風舎 竹半スポーツ	厚生ビル管理(株)	(有)大普建設	(株)秋田病理組織 細胞診研究センター	ALSOK秋田(株)
(有)鶴の湯温泉	秋 印(株)	秋田アスレチッククラブ (株)ダイヤブラザ	ニプロファーマ(株)	田沢湖高原リフト(株)
秋田 ノーザンハビネッツ(株)	シード(株)			

(平成30年3月31日現在 登録順)

担当者紹介

●アスリート就職推進アドバイザー 佐々木 功

秋田県大館市出身。
大手航空会社グループ企業で全国勤務を経験。
1994年にAターン。経歴を活かし、数社で勤務。
定年後、ハローワークでの職業相談員を経て、
2016年7月から(公財)秋田県体育協会ではアスリ
ートの就職支援を担当。



秋田トップアスリート無料職業紹介所も今春
で開設してから1年と9ヶ月。これまで6人のト
ップアスリートのマッチングが成立しており
ます。これからも2020年の東京オリンピック
など秋田に定住しながら、スポーツ界で活躍
するアスリートと企業のマッチング支援に努
めて参りますので、どうぞ宜しくお願い申し
上げます。

トップアスリート採用に
ご興味をお持ちの方は
こちらまでお問い合わせ下さい。

秋田トップアスリート無料職業紹介所

公益財団法人 秋田県体育協会

(厚生労働大臣許可番号05-ム-300018)

TEL.018-864-8094

〒010-0974 秋田市八橋運動公園1番5号
秋田県スポーツ科学センター2F

※詳しくはHPをご覧ください。

あきたアスリート就職支援

検索

<http://www.akitaikyo.or.jp/job/>



発行

公益財団法人 秋田県体育協会